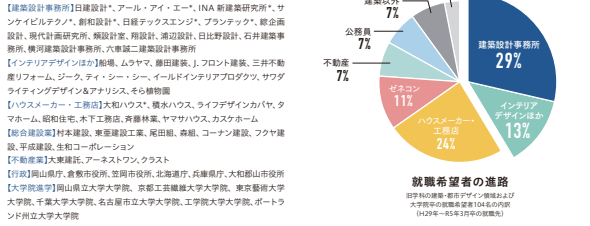


卒業後の進路

多くの学生が建築設計・デザイン分野の仕事に進んでいます

過去7年間の就職率は97%で、その多くが建築分野に進んでいます。就職先は建築設計やデザイン事務所(42%)が最も多く、それに続いてハウスメーカーやゼネコン・不動産、公務員となっています。ハウスメーカー等でも設計採用が多く、設計を職とする学生が数多いのが本学の特色といえます。

主な就職・進学先



卒業後に取得できる資格

- 一級建築士
試験合格と実務経験2年以上で取得できます。
- 二級建築士・木造建築士
試験に合格すると実務経験なしで取得できます。

大学院(2年間)で学びを深める

大学院進学率は28%(過去3年間平均)で、近年増加傾向にあります。本学の専任教員は、設計実務経験者(建築士7名)が多くを占め、大学院でも設計教育に重点を置いています。大手企業や著名な設計事務所は大学院修了生の採用を優先しますので、今後の長いキャリア人生を考えると進学も選択肢のひとつです。

R6年度に新任教員2名を予定

教員紹介

氏名	研究分野	学位・資格
山田 徹 教授	建築設計、建築計画	修士(工学)、一級建築士
吉田 豊 教授	建築設計、西洋建築史(近代)	修士(工学)、一級建築士
福原 高宏 教授	建築構法、日本建築史	修士(工学)、一級建築士
岡北 一孝 准教授	西洋建築史、建築保存再生	修士(学術)、一級建築士
島 和宏 准教授	建築計画(主に医療福祉)、建築設計	博士(工学)、二級建築士
西川 博美 教授	都市史(主に台湾)、建築設計	博士(学術)、一級建築士
徳吉 耕介 准教授	都市・地域計画、まちづくり	博士(工学)
津田 勇太 教授	建築構造	博士(工学)、一級建築士/構造設計一級建築士
原田 和典 助教	建築環境工学、建築音響	博士(工学)

受賞情報

- ▲ JIA岡山学生卒業設計コンクール 最優秀賞 (2021, 2022, 2023)
- ▲ 優秀卒業設計コンクール 最優秀賞 (2022, 2023)
- ▲ 広島平和祈念卒業設計展 最優秀賞 (2023)

その他、主な学生受賞歴

第25回エネルギー住宅作品コンテスト(学生部門)(佳作)、第1回 玉葉賞のデザインコンペティション「進化する住まいかた一住ま」と共にする家「一住作」、第28回ワンデーエクササイズ(最優秀賞・総合賞格賞)、石巻の空き家を活用したビジネスモデルコンペティション(優秀賞)、びざんためての Reborn コンペ 2019(優秀賞)

デザイン学部 建築学科

DEPARTMENT OF ARCHITECTURE



豊かな自然と文化の中で、 建築の学びを深める

学びの特徴

特徴 1 充実した建築設計教育

建築設計・デザインを中心とした教育に、まちなみ調査などのフィールドワークや建築の理論・歴史・構造・環境などが通じた統合的な建築教育を行っています。

特徴 2 学生に寄り添った少人数教育

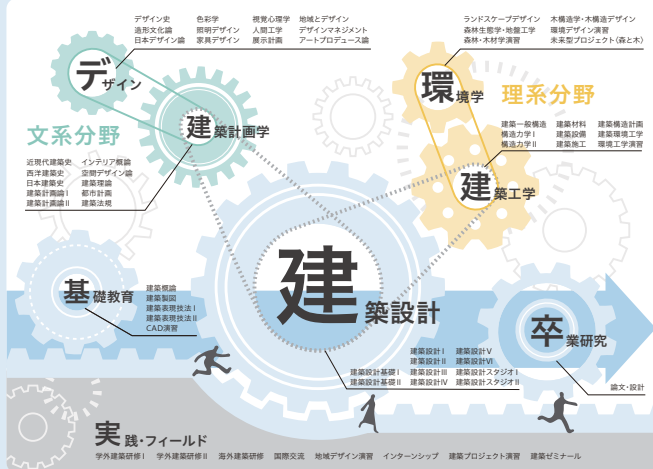
学生30名に対して10名ほどの専任教員と多彩な非常勤講師陣により、学生ひとりひとりに寄り添った、丁寧でわかりやすい建築教育を行っています。

特徴 3 豊かな自然をいかした環境学習

環境学習プロジェクト「吉備の杜」において、森林生態学などの講義や環境デザインなどの演習を通して「環境の時代」に対応する建築教育を実践しています。

カリキュラム

本学の建築教育の根幹は「建築設計」にあります。1年次から4年次までに配置した10個の建築設計演習が最大の効果を生むように、技能分野の「基礎教育」、文系分野の「建築計画学」[デザイン]、理系分野の「建築工学」[環境学]の科目群を配しています。これらを通して建築学全体の学びを深めつつ、「実践・フィールド」の演習科目により、実体験を通して感性や実践力を磨きます。4年次の「卒業研究」では、研究室に所属し、特定のテーマのもとに論文と設計の両方をまとめることで、実力と個性を兼ね備えた人材を育てています。



よくある質問

Q&A

Q デザイン学部で建築を学ぶメリットは何ですか?

A 建築設計・デザインにつながる実践力が身に付くことです。

本学では、将来、建築設計・デザイン分野で活躍できる人材の育成に重きを置いています。工部系の建築学科では構造・設備などの授業が充実していますが、本学では設計・デザインの授業に重点をおき、1年次から4年次まで充実した設計教育が受けられます(なお建築士試験に必要な授業はすべて行いますので安心してください)。



卒業設計では、個別に相談や教員・デザイン力を使って高度な提案ができてようになります。

Q 暮らしの役に立てるような地域貢献の場はありますか?

A あります。実際の現場で様々な取り組みを行っています。

行政や企業、市民活動団体などと一緒に、実際の建築提案やもつくりプロジェクトに活動しています。ここ数年だけで、公共施設設計提案(岡山県、広島県)、歴史町並みの保存活動(岡山県)、障がい者の利活用(岡山県)、旧蔵建物の保存活用(広島県)、表裏両面での設計住宅建設に関わる復興支援活動(社会的)も多数実施しています。



岡山県足守町並み保存地区の旧蔵物を活用した地域再生活動

Q 理系科目が苦手ですが、建築家になれますか?

A できます。ぜひチャレンジしてください!

建築学科＝理系・工学と思われるかもしれませんが、建築学は文系・理系の枠にとらわれない多様な分野で成り立っています。建築設計とは、無数の可能性から自分の解を見つけ出す行為ですから、想像力や感受性が豊かな文系系にも向いた職業といえます。また設計で使う数学・物理は限られており、特に心配する必要はありません。



学生ごとの個性に応じた柔軟かつ的確な対応の指導を重視しています。

Q 建築設計やデザインを学ぶための教育設備は充実していますか?

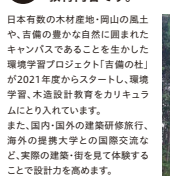
A はい。1人1台の机を用意し、建築に向き合える環境を整えています。



学習の中心となる製図室に、1人1台の机が1年次から割り当てられます。自主的な制作に集中したり、時には議論したりしながら、常に建築に向き合える環境が用意されています。CAD室では設計・デザインソフト(ArchicADやAdobe)を用いて図面やパースを描く教育が受けられます。ただし自宅でも学習できるようノートPCの購入を推奨しています。その他、木材・金属工場の工作機器、3Dプリンター等のデジタル機器を用いたもつくりができます。

Q 岡山県立大学ならではの取り組みはありますか?

A 吉備の豊かな自然を生かした教育内容です。



日本有数の木材産地・岡山の風土や、吉備の豊かな自然に恵まれたキャンパスである自然を生かした環境学習プロジェクト「吉備の杜」が2021年度からスタートし、環境学習、木造設計教育をカリキュラムにとり入れています。また、国内・国外の建築研修旅行、海外の建築大学との国際交流など、実際の建築・街を体感することで設計力を高めます。

Q 学生はどんなキャンパスライフを送っていますか?

A 学生の自主的な活動が盛んで、教員もそれを後押ししています。



建築設計課題の制作を中心とした正課授業に加えて、自主的な課外活動に取り組み学芸がたっします。このように学生を支援するために「建築サロン」という場を設けています。有期の学生(1年生から大学生卒業まで)が建築コンペ、地域プロジェクト、建築旅行、ポートフォリオ勉強会、スポーツ大会など活発な活動をしており、教員もこのような活動を後押ししています。